

—第1部— 講演

「正定事件」とは何か



峯崎恭輔

『「正定事件」の検証』の著者



—第2部— シンポジウム

「正定事件」反日攻撃にどう対処するか

パネリスト



山田 宏 参議院議員

杉田水脈 衆議院議員



加瀬 英明 外交評論家

中林 恵子 主婦

三浦小太郎 評論家

茂木 弘道 史実を世界に発信する会代表代行

—司会—

藤岡 信勝 新しい歴史教科書をつくる会副会長

平成30年2月26日(月)

13:30～16:30 (開場13:00)

入場無料

衆議院第2議員会館 多目的会議室

主催：正定事件講演会実行委員会

連絡先 090-6709-9380 佐藤

21世紀最初の歴史捏造 「正定事件」の真相に迫る

日中戦争中の昭和12年10月、中国大陆の都市・正定を占領した日本軍は、200人の慰安婦を要求したが、これに抵抗したカトリック神父ら九人を殺害した—と喧伝される「正定事件」。

だが、日本軍には動機もなく証拠もない。しかし、女性を守ったとして神父に「福者」の称号を追贈する運動がもりあがっており、バチカンが承認すれば、これは第二の南京事件となる。背後に反日国家が控えているが、知らぬは日本人ばかりなり。警鐘乱打の講演とシンポの会です。